

益気活血方による産後悪露治療 98 例

王洪美

山東省莒南県中医院 〒276600

一．概要

産後悪露の不絶（子宮復古不全）は婦人科でよく見られる疾患で、産後の悪露が 10 日間以上続き止まらない事である。

（注意：日本では産後 7 日程度で色が茶褐色に変わり、2～3 週間で淡黄色となり、1 か月程度で白色の織物に変わるのが一般的である。）

著者は 2004 年から益気活血方でこの疾患 98 名を治療、良い結果を得た。

二．臨床データ

a. 98 名患者のうち、第 1 子 68 名、第 2 子 30 名。

年齢	19～25 歳	26～30 歳	31～35 歳	36～40 歳	>40 歳
人数	38 人	36 人	16 人	7 人	1 人

症状日数	8～20 日間	21～30 日間	31～40 日間	41～50 日間	>50 日間
人数	50 人	28 人	10 人	6 人	4 人

b. 全ての患者は産後 3 週間以上悪露が続く。症状は出血が滞り、色暗い紫、血塊あり、下腹部痛、押すに拒む、舌暗い紫或いは紫点。

三．治療方法

98 名全員に益気活血方：黄耆・党参各 20g、川芎・当帰・劉寄奴・桃仁各 15 g、益母草・焦山査各 30 g、甘草 6 g、枳殻 25 g、悪臭匂い＋蒲公英・蚤休（清熱解毒）、口渴＋生地黃・阿膠・烏曲骨（養陰清熱止血）。悪露が出なくなったら漢方を止める。1 コース 10 日間。

四．効果の評価基準

治癒：3～10 日漢方服用、悪露停止、症状消失。

顕効：10 日漢方服用、悪露が明らかに減少、症状消失。

有効：10 日漢方服用、悪露はそこまで減少はしないが、症状が明らかに改善。

無効：10 日漢方服用、悪露と症状の改善なし。

五．治療効果

治療効果	治癒	顕効	有効	無効	総有効率
人数、割合	78 名、79.6%	12 名、12.2%	5 名、5.1%	3 名 3.1%	96.9%

六．典型的な症例

劉さん 28 歳女性、主訴産後 30 日出血が止まらない。

初診 2006.3.7、第 1 子は 5 歳女子、第 2 子男児出産 30 日目、不正出血が止まらない、量は少ない、色暗い紫、血塊あり、下腹部墜落感、顔色白く艶なし、元気なし、話が億劫、舌紫暗い、舌辺に紫点あり、脈弦洪。

病院診断：子宮復旧不全。

中医診断：産後惡露不絶。弁証：気虚瘀血。治法：益気活血。

処方：黄耆 20 g、党参 15g、川芎 12 g・当帰 12 g・劉寄奴 12 g・桃仁 12 g、益母草 30 g・焦山査 30 g、甘草 6 g、枳殻 20 g。

効果：5 日間漢方服用後、不正出血が止まり、食欲回復、顔色改善、漢方を止めても 10 日再発なし。

七．討論

産後惡露止まらないメカニズムに関して、現代医学から言えば、子宮復古不全、感染症、胎盤・胎膜残留が原因である。中医学から言えば、《諸病源候論》：惡露不絶の原因は“血瘀”と“虚損”、《傳青主女科・産後篇》産後の多虚、多瘀の病理特徴で加減生化湯の証。

益気活血方は生化湯の上に、生薬を増やす。当帰・川芎・劉寄奴・益母草・枳殻は子宮興奮作用を持ち、当帰・川芎・蚤休・甘草は菌を抑制作用あり、合わせて益気活血化瘀止血の働きを果たす。